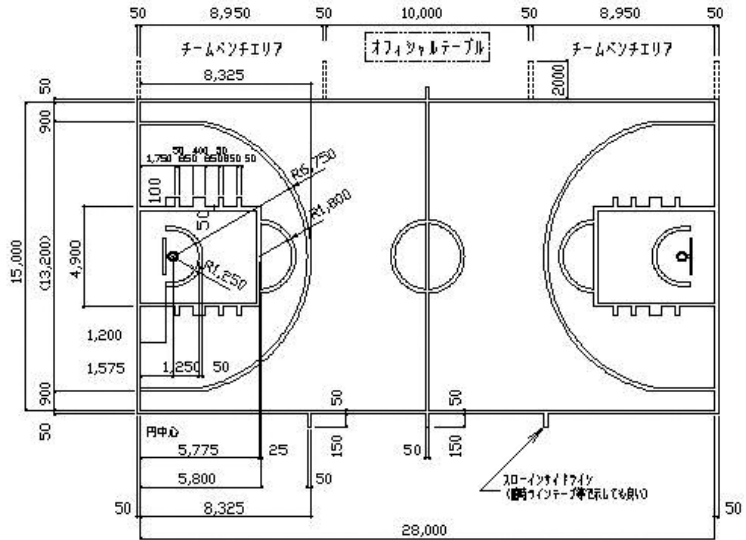


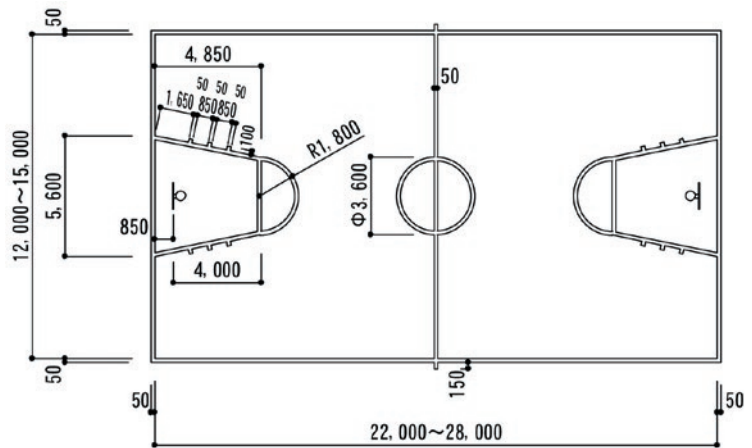
バスケットボール

- *日本バスケットボール協会が主催する大会で使用するコートはこの規格を原則とする。
- *コートは障害物のない長方形の平面で、縦28m、横15mとする。
コートの大きさは境界線の内側で測り、ライン幅はすべて50mmとする。
コート上高さ7mの範囲内、サイドライン及びエンドラインの周囲2mの範囲内には、競技の妨げとなるような障害物等があってはならない。
- *学校体育の場合は縦24m～28m、横13m～15mの範囲内で縦横バランスの取れたコートを使用する。



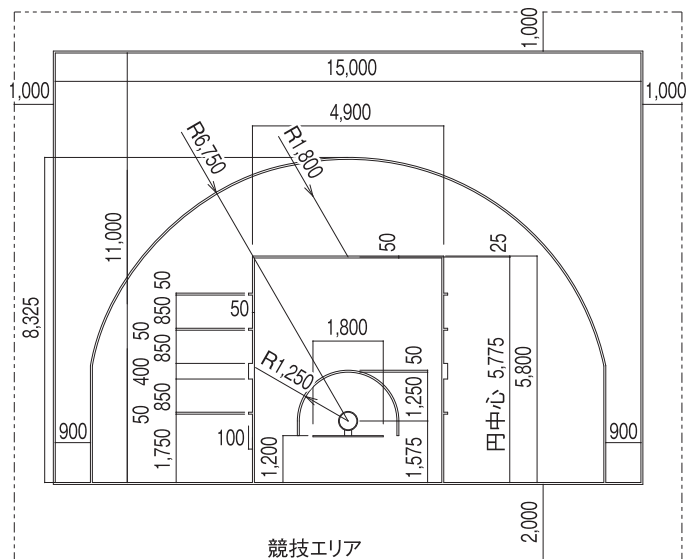
ミニバスケットボール

- *コートは障害物のない長方形の平面で、縦22m～28m、横12m～15mの範囲で縦横バランスの取れたコートを使用する。
コートの大きさは境界線の内側で測り、ライン幅はすべて50mmとする。
コート上、サイドライン及びエンドラインの周囲1mの範囲内には、競技の妨げとなるような障害物等があってはならない。



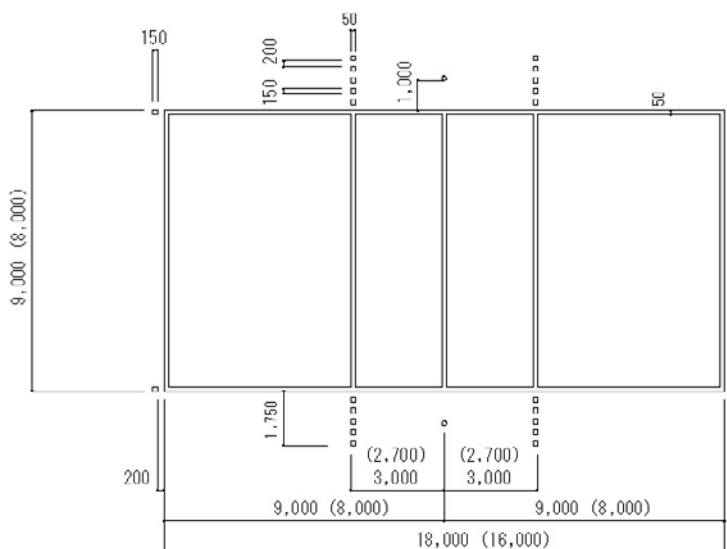
3 by 3

- *ゲームは、バスケット1基を備えた3×3バスケットボールコートで行われる。正規の3×3コートの大きさは横15m、縦11mとする。
コートは、フリースローライン (5.8m) やツーポイントライン (6.75m)、バスケット1基の真下にある“ノーチャージせみサークル”などを含む正規のバスケットコートと同じサイズでなければならない。
通常のバスケットボールコートの半面は使用することもできる。
全カテゴリーで3×3オフィシャルボールを使用する。



6人制バレーボール

*障害限度はサイドラインより5m以上必要、エンドラインより8m以上のスペースが必要。
また高さは12.5m以上(国際大会)、国内大会での高さは7m以上。
コートは外側で測り、全てのライン幅は50mmとする。



()小学生用バレーコート

ネットの高さ

	男子	女子
一般	2.43m	2.24m
高校	2.40m	2.20m
中学	2.30m	2.15m
小学	2.00m	2.00m

9人制バレーボール

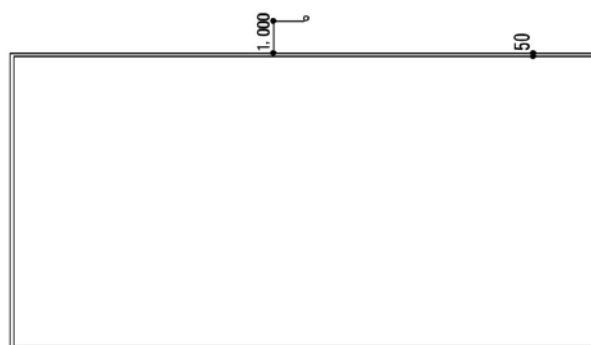
*障害限度はサイドラインより5m以上必要、エンドラインより8m以上のスペースが必要。
また高さは12.5m以上(国際大会)、国内大会での高さは7m以上。
コートは外側で測り、全てのライン幅は50mmとする。

ネットの高さ

	男子	女子
一般	2.38m	2.10m
高校	2.25m	2.05m
中学	2.15m	2.00m
小学	1.90m	1.90m
家庭婦人		2.05m

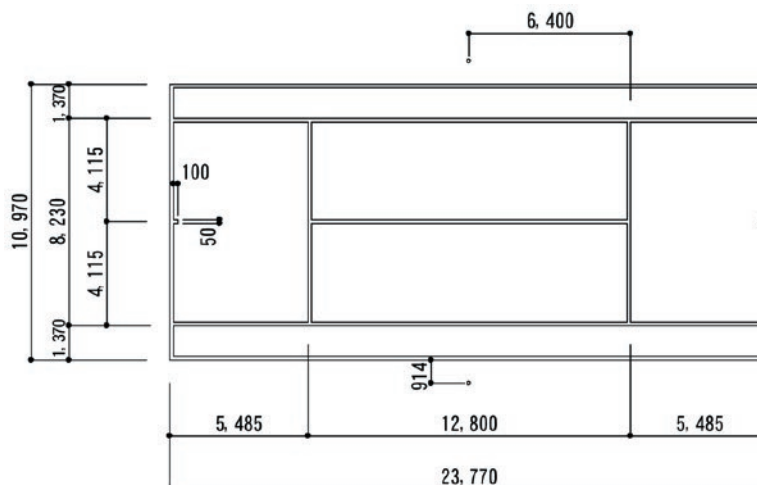
コートの広さ

	男子	女子
一般	21×10.5m	18×9m
高校	21×10.5m	18×9m
中学	20×10m	18×9m
小学	16×8m	16×8m



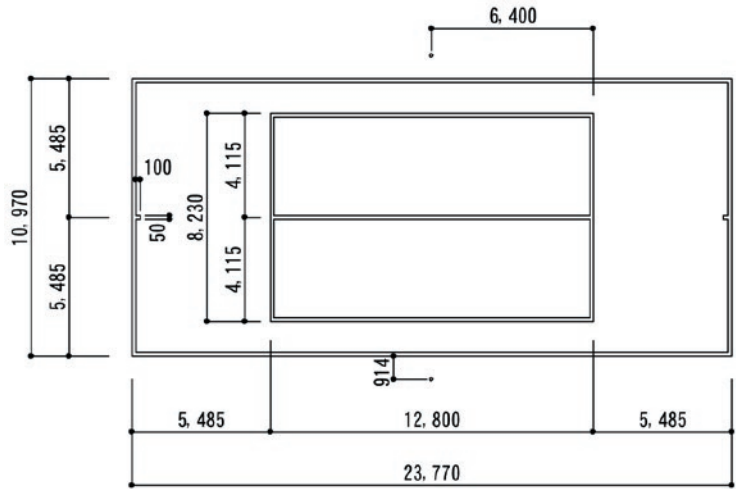
硬式テニス

*障害限度は公式試合の場合は、ベースラインの後方は6.40m以上、サイドラインの横は3.66m以上の空地がなければならない。
しかし実際にはベースラインより8m以上、サイドラインより5m以上が望ましい。
*特記なきライン幅は全て25mm～50mmとし、コートは外側で測る。



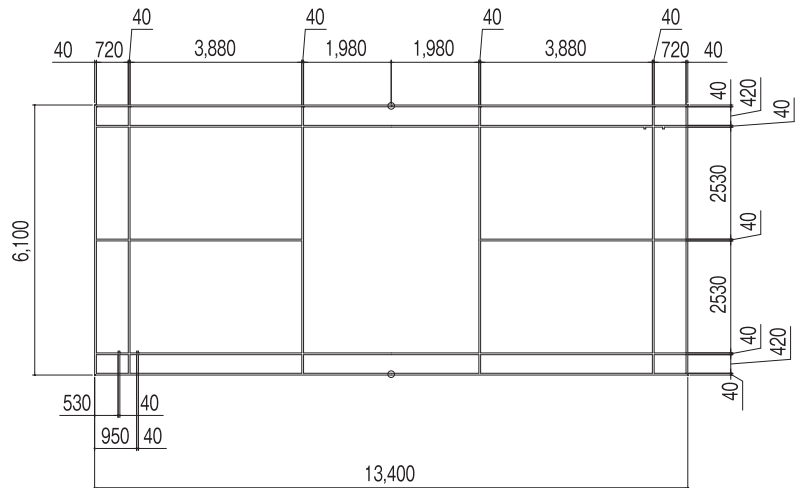
軟式テニス

- *障害限度は、アウトコートはベースラインから後に8.0m以上、サイドラインから横に6.0m以上の空地があることを原則としてフェンスをもってかこまれていなくてはならない。
- *コートラインは原則として、白色で、幅は50mmないし60mmとする。ただし、砂入り人工芝の場合、ベースラインの幅は50mmないし100mmとする。



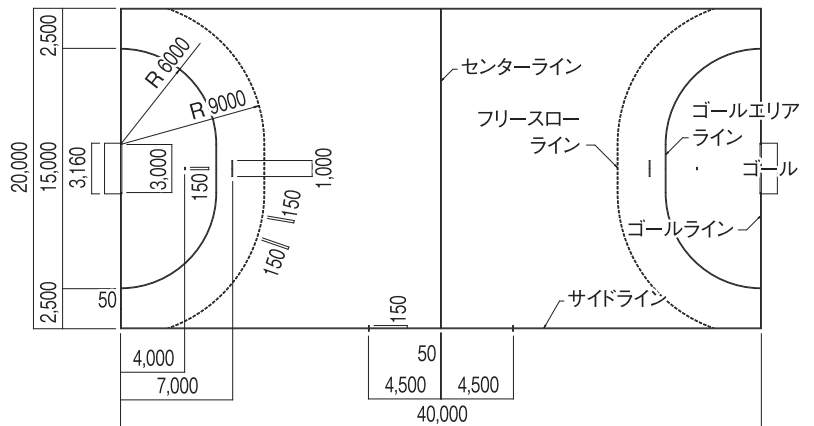
バドミントン

- *障害限度はサイドライン、エンドラインより2.0m以上。又高さはコート面より12m以上。(公式試合) コートは外側で測り、ライン幅は40mm。



ハンドボール

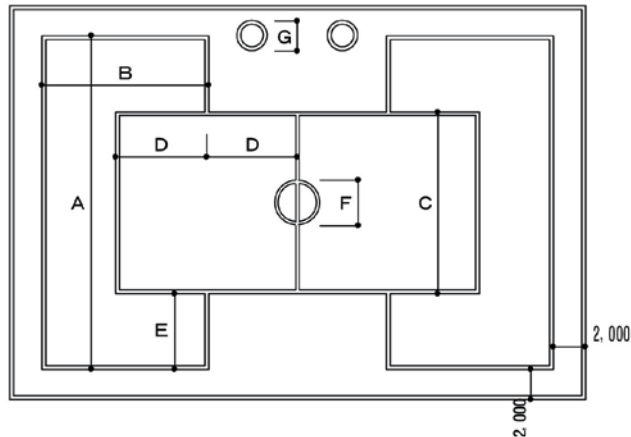
- *コートの大きさは40m×20mが標準であるが特別な場合は長さ38m~44m・幅18m~22mにすることができる。公式競技は40m×20mのコートで行う。コートの周囲にはサイドラインに沿って幅1m以上、アウターゴールライン後方に幅2m以上の安全地帯を設けなくてはならない。ライン幅は50mmとする。



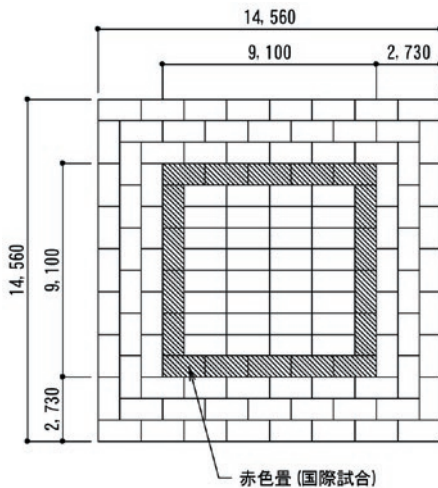
ドッジボール

*ラインの幅は50mm以上70mm以下とする。

	小学生男子 小学生女子 中学生女子	中学生男子 高校生女子 一般女子	高校生男子 一般男子
A	16.0m	19.0m	22.0m
B	8.0m	9.5m	11.0m
C	10.0m	11.0m	12.0m
D	5.0m	5.5m	6.0m
E	3.0m	4.0m	5.0m
F	2.0m	3.0m	3.0m
G	2.0m	2.0m	2.0m

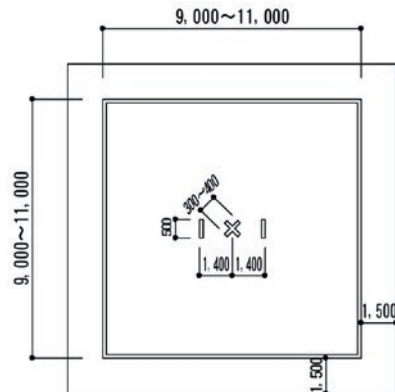


柔道



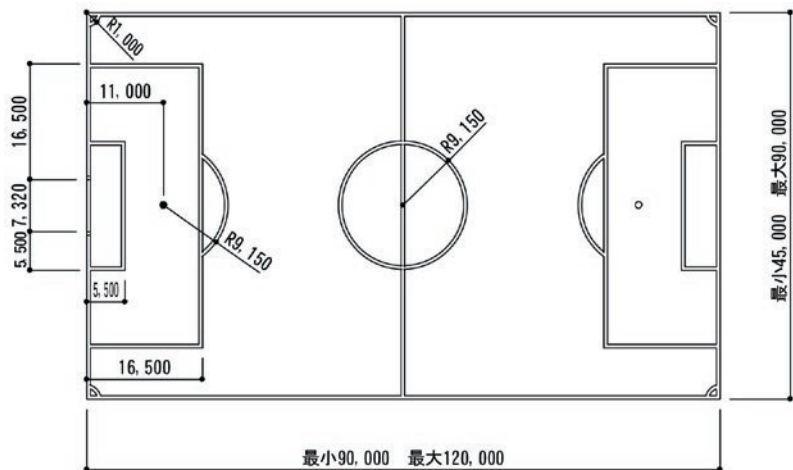
剣道

*各線は、幅50mmないし100mmとし、白線を原則とする。



サッカー

*競技のフィールドは長方形で、長さ90m以上120m以下、幅45m以上90m以下とする。
(国際試合においては、長さ100m以上110m以下、幅64m以上75m以下とする。)
タッチラインの長さはゴールラインの長さより長くなければならない。
ラインは図に示すとおり、幅12cm以下の境界線によって描き、V字溝で区画してはならない。
長い方の2本の境界線をタッチライン、短い方の境界線をゴールラインという。
各コーナーには、旗をつけた先端のとがっていない高さ1.5m以上のフラッグポストを立てる。



フットサル

●競技のフィールドは長方形で、長さ25m以上42m以下、幅15m以上25m以下とする。

(国際試合においては、長さ38m以上42m以下、幅18m以上22m以下とする。)

タッチラインの長さはゴールラインの長さより長くなければならない。

ラインは図に示すとおり、幅80mmの境界線によって描く。長い方の2本の境界線をタッチライン、短い方の境界線をゴールラインという。

ピッチは、ハーフラインで半分に分けられる。ハーフラインの中央にセンターマークをし、これを中心に半径3mのサークルを描く。

(財)日本サッカー協会の決定

ゴールラインの長さが15mから16mの場合、ペナルティーエリアの半径は、4mとする。

この場合、ペナルティーマークは、ペナルティーエリアを示すライン上ではなく、両ゴールポストの中央点から6mで、両ゴールポストから等距離のところとする。

